

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）



2025年5月14日

東

上場会社名 BBDイニシアティブ株式会社 上場取引所
コード番号 5259 URL <https://bbdi.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長 グループCEO（氏名） 稲葉雄一
問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO（氏名） 佐藤幸恵（TEL）0354058120
半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	2,195	11.1	180	19.6	170	19.5	102	27.6	102	27.6	99	24.8
2024年9月期中間期	1,976	—	151	—	142	—	80	—	80	—	80	—
	基本的1株当たり 中間利益				希薄化後1株当たり 中間利益							
	円 銭				円 銭							
2025年9月期中間期	17.76				—							
2024年9月期中間期	15.16				—							

（注）2024年9月期中間期及び2025年9月期中間期の希薄化後1株当たり中間利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2025年9月期中間期	4,173		2,237		2,237	53.6
2024年9月期	4,133		1,280		1,280	31.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益	基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,700	13.9	355	24.3	215	30.5
						40.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期中間期	6,120,221株	2024年9月期	5,276,221株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	296株	2024年9月期	233株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年9月期中間期	5,749,637株	2024年9月期中間期	5,276,015株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示しています。また、2025年5月15日 (木) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日説明する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(要約中間連結損益計算書)	6
(要約中間連結包括利益計算書)	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、自然災害や急激な円安による個人消費の抑制傾向がみられるものの、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界情勢の緊迫化、各国の政権政策の転換による金融資本市場や経済活動への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、中堅・中小企業においてもテレワークが定着し、デジタルトランスフォーメーション(DX)への機運は依然として高く、企業のIT投資、人的資本投資、M&A投資、研究開発投資等に意欲的となっています。

さらに、高度な対話型生成AIである「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルによる技術革新は、労働集約的業務・単純作業の自動化にとどまらず、あらゆるサービスにAIを活用したソリューション、AIエージェントが組み込まれていくと見込まれています。

また、社会的課題である生産労働人口の減少に伴うIT人材不足は深刻化の一途を辿っており、IT人材の採用困難性は増しています。

このような状況下、企業のIT投資は省力化と生産性向上への投資が加速すると予想され、IT資本と労働の代替が適切に進展しない場合は成長の制約となってしまうと考えられます。

当社は引き続きDXによる企業活動支援を積極的に推進し、中堅・中小企業のDXを支援するための4つのクロステック「セールステック」、「マーテック」、「ディープテック」、「タレントテック」を中心に経営資源を絞り、事業の選択と集中に取り組んでまいりました。

具体的には、主力事業であるDX事業セグメントにおいて、次世代型「Knowledge Suite」の提供を開始し、生成AI機能の実装により、顧客の営業活動の効率化と利便性向上を実現いたしました。これにより、新規顧客の獲得および既存顧客へのクロスセルが進展し、売上の増加に寄与しております。

また、BPO事業セグメントにおいても、IT人材の確保と教育を強化し、高単価かつ高採算のプロジェクト案件の獲得に成功いたしました。これにより、当該セグメントの売上は順調に達成しております。

さらに、営業利益率の向上を最優先事項として取り組んでおり、営業利益率7.6%の計画に対し、当中間連結会計期間では年度計画の達成に向けて順調に成果を上げております。今後も営業利益率10%の目標達成に向けて、引き続き業務効率化やコスト管理の徹底を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は順調に推移しており、通期業績予想の達成に向けて順調なスタートを切ることができ、売上収益は2,195,387千円(前年同期比11.1%増)、営業利益は180,825千円(前年同期比19.6%増)、税引前中間利益は170,380千円(前年同期比19.5%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益102,119千円(前年同期比27.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当中間連結会計期間においては、販売パートナーの新規開拓活動及び深耕活動による拡販支援、効率の高い展示会への積極的な参加等によるマーケティング・プロモーション活動を引き続き注力し、リード(見込み顧客)獲得の拡大を図るなど販売チャネル強化を進めてまいりました。

また、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社及び提携先パートナーによるRPAサービス等の同時提案やクロスセルといった取り組みを推進したことで、SaaS売上収益は前年同期比5.5%増、グループサブスクARR(※1)は1,640百万円となりました。

これらの結果、売上収益は1,073,348千円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益は271,899千円(前年同期比16.3%減)となりました。

※1 グループサブスクARR: 2025年3月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。
ARRはAnnual Recurring Revenueの略。年次経常収益。

M R RはMonthly Recurring Revenue。月間経常収益。

② B P O事業

当中間連結会計期間においては、引き続き高いI T人材需要を背景に積極的な営業活動を進め、S E S売上収益は前年同期比20.7%増となりました。

これらの結果、売上収益は1,122,038千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は150,562千円（前年同期比21.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の流動資産は1,501,757千円となり、前連結会計年度末に比べ97,508千円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加137,484千円、営業債権及びその他の債権の減少24,268千円、その他の金融資産の増加21,563千円、その他流動資産の減少21,797千円によるものであります。

当中間連結会計期間末の非流動資産は2,671,767千円となり、前連結会計年度末に比べ57,224千円減少しました。これは主に、使用権資産の減少68,353千円、無形資産の増加14,549千円によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の資産合計は4,173,524千円となり、前連結会計年度末に比べ40,283千円増加しました。

（負債）

当中間連結会計期間末の流動負債は1,347,984千円となり、前連結会計年度末に比べ569,221千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少467,940千円によるものであります。

当中間連結会計期間末の非流動負債は588,410千円となり、前連結会計年度末に比べ347,263千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少295,911千円によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の負債合計は1,936,395千円となり、前連結会計年度末に比べ916,485千円減少しました。

（資本）

当中間連結会計期間末の資本は2,237,129千円となり、前連結会計年度末に比べ956,768千円増加しました。これは主に、中間利益の計上による増加102,119千円、新株の発行による増加882,824千円、剰余金の配当による減少36,931千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ22.6ポイント増加し、53.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想は、営業利益率10%を目標に、営業活動とその周辺領域の顧客ニーズを取り込んだプロダクト・サービスを積極的にクロスセル展開し、顧客単価向上によるオーガニック成長をより一層加速させると同時に、既存事業とのシナジーを狙った営業・マーケティング領域のM&A・新規事業等の成長ドライバーによる非連続的成長を推進し、営業利益に貢献する投資を継続することで財務体質の健全化を進めてまいります。

また、深刻化する人手不足を補うべく営業・業務の自動化・自律化を促進する生成A I等の先端技術を組み込んだ次世代「Knowledge Suite（ナレッジスイート）」の市場投入を進め、人材の最適配置、人材育成、人事制度の見直しを実行することで、さらなるクロスセル拡販体制強化による顧客単価向上を推進してまいります。

以上から、売上収益は4,700百万円（前年同期増減額572百万円増）、営業利益は355百万円（前年同期増減額69百万円増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は215百万円（前年同期増減額50百万円増）としております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、感染症収束に伴う経済活動の回復に要する期間等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		743,079	880,564
営業債権及びその他の債権		561,194	536,926
棚卸資産		1,775	2,333
未収法人所得税等		16,724	692
その他の金融資産		3,268	24,831
その他の流動資産		78,206	56,409
流動資産合計		1,404,248	1,501,757
非流動資産			
有形固定資産		45,148	45,597
使用権資産		317,848	249,495
のれん		843,893	843,893
無形資産		1,321,155	1,335,704
その他の金融資産		110,136	105,033
繰延税金資産		90,809	92,043
非流動資産合計		2,728,991	2,671,767
資産合計		4,133,240	4,173,524

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		321,682	203,288
契約負債		91,881	85,085
有利子負債		1,159,132	691,192
リース負債		128,292	111,722
未払法人所得税等		24,226	70,856
その他の流動負債		191,990	185,840
流動負債合計		1,917,205	1,347,984
非流動負債			
有利子負債		711,290	415,379
リース負債		167,847	116,412
引当金		39,605	39,686
繰延税金負債		16,931	16,931
非流動負債合計		935,674	588,410
負債合計		2,852,880	1,936,395
資本			
資本金		734,016	1,176,526
資本剰余金		285,819	702,475
利益剰余金		258,225	360,345
自己株式		△20	△86
その他の資本の構成要素		2,319	△2,131
親会社の所有者に帰属する持分合計		1,280,360	2,237,129
資本合計		1,280,360	2,237,129
負債及び資本合計		4,133,240	4,173,524

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

(要約中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上収益		1,976,928	2,195,387
売上原価		1,117,647	1,345,028
売上総利益		859,281	850,358
販売費及び一般管理費		701,169	669,318
その他の収益		1,821	2,071
その他の費用		8,693	2,285
営業利益		151,240	180,825
金融収益		33	395
金融費用		8,709	10,840
税引前中間利益		142,564	170,380
法人所得税費用		62,563	68,261
中間利益		80,000	102,119
中間利益の帰属			
親会社の所有者		80,000	102,119
中間利益		80,000	102,119
1株当たり中間利益			
基本的1株当たり中間利益 (円)		15.16	17.76
希薄化後1株当たり中間利益 (円)		—	—

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間利益		80,000	102,119
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品		—	△2,256
その他の包括利益合計		—	△2,256
中間包括利益		80,000	99,863
中間包括利益の帰属			
親会社の所有者		80,000	99,863
中間包括利益		80,000	99,863

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分						資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	
2023年10月1日残高	734,016	263,661	93,498	—	132	1,091,309	1,091,309
中間利益	—	—	80,000	—	—	80,000	80,000
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	80,000	—	—	80,000	80,000
自己株式の取得	—	—	—	△20	—	△20	△20
株式報酬取引	—	11,078	—	—	—	11,078	11,078
所有者との取引額等合計	—	11,078	—	△20	—	11,058	11,058
2024年3月31日残高	734,016	274,740	173,499	△20	132	1,182,367	1,182,367

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分						資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	
2024年10月1日残高	734,016	285,819	258,225	△20	2,319	1,280,360	1,280,360
中間利益	—	—	102,119	—	—	102,119	102,119
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,256	△2,256	△2,256
中間包括利益合計	—	—	102,119	—	△2,256	99,863	99,863
剰余金の配当	—	△36,931	—	—	—	△36,931	△36,931
新株の発行	442,509	442,509	—	—	△2,194	882,824	882,824
自己株式の取得	—	—	—	△65	—	△65	△65
株式報酬取引	—	11,078	—	—	—	11,078	11,078
所有者との取引額等合計	442,509	416,656	—	△65	△2,194	856,905	856,905
2025年3月31日残高	1,176,526	702,475	360,345	△86	△2,131	2,237,129	2,237,129

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	142,564	170,380
減価償却費及び償却費	131,586	172,494
金融収益	△33	△395
金融費用	8,709	10,840
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,044	△557
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△13,360	24,268
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,955	△118,394
契約負債の増減額(△は減少)	1,933	△6,795
その他	△29,862	32,692
小計	244,449	284,532
利息の受取額	33	395
利息の支払額	△7,826	△16,903
法人所得税の支払額	△24,373	△23,545
法人所得税の還付額	—	16,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,282	261,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,032	△5,542
無形資産の取得による支出	△161,592	△111,897
子会社の取得による支出	△209,078	—
その他	△18,336	△19,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,040	△137,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	55,004	△240,000
長期借入れによる収入	340,000	—
長期借入金の返済及び社債の償還による支出	△180,016	△524,161
リース負債の返済による支出	△67,445	△68,004
株式の発行による収入	—	882,824
配当金の支払額	—	△36,931
自己株式の取得による支出	△20	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,522	13,660
現金及び現金同等物の増減額	△34,235	137,484
現金及び現金同等物の期首残高	668,302	743,079
現金及び現金同等物の中間期末残高	634,067	880,564

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援 SaaS の開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービス、AIを活用したインサイドセール支援サービス、タレント広告体験サービス、マーケティングデータサービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング (IT人材リソース) を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	DX事業	BPO事業	合計	調整額	要約中間 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,032,584	944,344	1,976,928	—	1,976,928
セグメント間の売上収益	1,170	13,308	14,478	△14,478	—
合計	1,033,754	957,653	1,991,407	△14,478	1,976,928
セグメント利益	324,951	123,674	448,626	△297,385	151,240
金融収益	—	—	—	—	33
金融費用	—	—	—	—	8,709
税引前中間利益	—	—	—	—	142,564

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約中間 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,073,348	1,122,038	2,195,387	—	2,195,387
セグメント間の売上収益	570	13,193	13,763	△13,763	—
合計	1,073,918	1,135,231	2,209,150	△13,763	2,195,387
セグメント利益	271,899	150,562	422,461	△241,635	180,825
金融収益	—	—	—	—	395
金融費用	—	—	—	—	10,840
税引前中間利益	—	—	—	—	170,380

- (注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。
2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。
3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。